

記者発表資料

「R2南子安地区外交差点改良舗装工事」において、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」、「見積活用方式」、「余裕期間制度」、「施工箇所が点在する工事の積算」、「日当たり作業量の補正」、「間接工事費実績変更方式」を採用します。

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「R2南子安地区外交差点改良舗装工事」については、以下の対策を採用します。

①「公募指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「見積活用方式」

本工事は、現道交通量が多く、交差点内での限られた狭隘な作業ヤード内での施工となる工事のため、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

③「余裕期間制度（任意着手方式）」

本工事は、発注者が示した工事着手期限までの間で、受注者が工事の始期を選択できる「余裕期間制度」を採用します。

④「施工箇所が点在する工事の積算」

本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

⑤「日当たり作業量の補正」

本工事は、直接工事費のうち、現場条件等により作業効率が低下し、標準積算と施工実態の乖離が大きいと考えられる歩掛かりについて、日当たり作業量の補正を試行します。

⑥「間接工事費実績変更方式」

本工事は、「安全費」、「運搬費」において、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費(率分)を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

千葉国道事務所ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/>
twitter情報 https://twitter.com/mlit_chibakoku



発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 千葉国道事務所
電話 043-287-0311（代）
副所長（技）うえだ しんや 上田 信也 交通対策課長 かした けいすけ 梶田 啓介

《工事概要》

- (1) 工事名：R2南子安地区外交差点改良舗装工事
- (2) 工事場所：千葉県君津市南子安地先、千葉県木更津市請西地先
- (3) 工期：工事の始期から188日間（工事着手期限 令和3年4月25日）
- (4) 入札方式：公募指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別：アスファルト舗装A+B
- (6) 工事内容（概要）：

- 千葉県君津市南子安地先（内みのわ運動公園交差点）
舗装工 約1100m² 歩道舗装 約50m² 区画線工 約2000m 縁石工 約500m
排水構造物工 約30m 道路土工 約1000m³ 標識工 1式
- 千葉県木更津市請西地先（請西交差点）
薄層カラー舗装工 約40m² 縁石工 約40m 道路土工 約20m³
区画線工 約400m 標識工 1式

「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

「見積活用方式」

- 見積の提出を求める工種

直接工事費のうち、道路土工、舗装工

- 見積の提出を求める理由

施工箇所は、沿道に、店舗、住宅等が連坦し交通量も多い箇所です。

施工にあたっては、現道交通を確保しながら、交差点内の限られた狭隘な作業ヤード内での施工とならなければならない、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

「余裕期間制度（任意着手方式）」

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工事着手期限（令和3年4月23日）までの間で、受注者が工事の始期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

「施工箇所が点在する工事の積算」

本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所が発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

「日当たり作業量の補正」

本工事は、直接工事費のうち、現場条件等により作業効率が低下し、標準積算と施工実態の乖離が大きいと考えられる歩掛かりについて、日当たり作業量の補正を行います。

対象とする歩掛

L型側溝

「間接工事費実績変更方式」

○実績により変更を行う工種

共通仮設費(率分)のうち「安全費」、「運搬費」

○実績により変更を行う理由

施工箇所は、沿道に、店舗、住宅等が連坦し交通量も多く、警察協議等により標示板、保安灯など安全施設等、安全管理に要する費用が多くなることが想定されます。また、施工箇所が狭隘な箇所であることから、作業スペースの確保が困難であり、その都度資機材の搬入が必要となるため、運搬費において標準積算と乖離が想定されます。

以上のことから、間接工事費実績変更方式の対象項目として、「安全費」「運搬費」を対象としています。

《スケジュール》

- | | |
|-----------------|----------------|
| ○入札公告 | : 令和3年2月 2日(火) |
| ○技術資料等、見積書提出期限 | : 令和3年2月15日(月) |
| ○入札書・工事費内訳書提出期限 | : 令和3年3月15日(月) |
| ○開札日 | : 令和3年3月18日(木) |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

